

量研施設共用 成果公表連絡票（論文発表用）

本票には、課題 1 件、発表 1 件についてご記入ください。

提出日	2021 年 2 月 26 日			*発表資料及び誌名・発行日を示す表紙等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2018A-K03	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名（ビームライン等）	J-KAREN-P	
利用課題名	極短パルス高強度レーザーを用いた極限プラズマの研究			
研究代表者 氏名	蔵満 康浩	所属	大阪大学	
① 標題（英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。）				
ターゲット表面プラズマ密度制御による電子・イオン加速の物理とレーザーパルスコントラスト制御技術 6. グラフェンを用いたレーザーイオン加速				
② 掲載論文誌名				
プラズマ・核融合学会誌				
Vol : 97		No. : 1	頁 : (P. 16~P. 19)	発行日（冊子体） : 2021 年 1 月 25 日
			(PDF・Web 版) :	年 月 日
査読(○で囲む) : <input checked="" type="radio"/> ・ 無				
③ 著者（所属）				
蔵満康浩（大阪大学）				
④ 備考				

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題1件、発表1件についてご記入ください。

提出日	2021年 2月 26日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2018A-K03	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	極短パルス高強度レーザーを用いた極限プラズマの研究			
研究代表者 氏名	蔵満 康浩	所属	大阪大学	
<p>① 標題 (英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。)</p> <p>Acceleration of high charged Au ions by irradiating ultra-intense laser on ultra-thin gold foil suspended on large-area suspended graphene target (大面積自立グラフェンにマウントされた金極薄膜を用いた超高強度レーザーによる高価数金イオン加速)</p>				
<p>② 発表会議名</p> <p>日本物理学会 2020 秋季大会</p> <p style="text-align: center;">発表場所(開催都市) : オンライン開催 発表日 : 2020年10月10日</p>				
<p>③ 著者(所属)</p> <p>T. Minami, H. Habara, T. Hihara, K. Sakai, M. Takano, T. Nishimoto, W. Y. Woon^A, Y. T. Liao^A, Y. Fukuda^B, H. Kiriyama^B, Ko. Kondo^B, Y. Sakawa^C, A. Morace^C, S. Egashira^C, M. Ota^C, T. Izumi^C, T. Morita^D, M. Takagi^D, M. Kanasaki^E, T. Asai^E, S. Jinno^F, Y. Kuramitsu</p> <p>(Eng. Osaka U., Phys. NCU^A, KPSI QST^B, ILE Osaka U.^C, Eng. Sci. Kyushu U.^D, Maritime Eng. Kobe U.^E, Eng. Tokyo U.^F)</p>				
<p>④ 備考</p>				

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題1件、発表1件についてご記入ください。

提出日	2021年 2月 26日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2018A-K03	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	極短パルス高強度レーザーを用いた極限プラズマの研究			
研究代表者 氏名	蔵満 康浩	所属	大阪大学	
<p>① 標題 (英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。)</p> <p>Relativistic ion acceleration with nanostructure targets supported by large-area suspended graphene (大面積自立グラフェンを用いたナノ構造ターゲットによる相対論的イオン加速)</p>				
<p>② 発表会議名</p> <p>日本物理学会 2020 秋季大会</p> <p style="text-align: center;">発表場所(開催都市) : オンライン開催 発表日 : 2020年10月10日</p>				
<p>③ 著者(所属)</p> <p>Y. Kuramitsu, T. Minami, T. Hihara, K. Sakai, T. Nishimoto, M. Takano, H. Habara, S. Isayama^A, Y. Sakawa^B, A. Morace^B, S. Egashira^B, M. Ota^B, Y. Nakajima^B, M. Kanasaki^C, T. Nakagawa^C, T. Asai^C, K. Sakamoto^C, K. Shimizu^C, K. Oda^C, T. Yamauchi^C, Ko. Kondo^D, H. Kiriyama^D, S. Jinno^E, S.H. Chen^F, Y.T. Liao^F, W.Y. Woon^F, Y. Fukuda^E</p> <p>(Eng. Osaka U., Eng. Sci. Kyushu U.^A, ILE Osaka U.^B, Marine Kobe U.^C, KPSI QST^D, Eng. Tokyo U.^E, Phys. NCU^F)</p>				
<p>④ 備考</p>				

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題1件、発表1件についてご記入ください。

提出日	2021年 2月 26日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2018A-K03	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	極短パルス高強度レーザーを用いた極限プラズマの研究			
研究代表者 氏名	蔵満 康浩	所属	大阪大学	
① 標題 (英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。) 固体飛跡検出器におけるエッチピット成長挙動に基づくレーザー加速イオンの特性評価				
② 発表会議名 日本物理学会 2020 秋季大会 発表場所(開催都市) : オンライン開催 発表日 : 2020年10月9日				
② 著者(所属) 金崎真聡, 浅井孝文, 神野智史 ^A , 檜原崇正 ^B , 蔵満康浩 ^B , 山内知也, 小田啓二, 福田祐仁 ^C (神戸大院海事, 東大院工 ^A , 阪大院工 ^B , 量研関西 ^C)				
④ 備考				

量研施設共用 成果公表連絡票（学会等発表用）

本票には、課題1件、発表1件についてご記入ください。

提出日	2021年 2月 26日			*発表資料及び発表日・開催場所を示すプログラム等の資料の写しを添えてください。
課題番号	2018A-K03	利用施設名	光量子科学研究施設	
		装置名(ビームライン等)	J-KAREN-P	
利用課題名	極短パルス高強度レーザーを用いた極限プラズマの研究			
研究代表者 氏名	蔵満 康浩	所属	大阪大学	
<p>① 標題 (英語タイトルの場合は、その日本語訳もお書きください。)</p> <p>Acceleration of high charged Au ions from interaction between an extremely intense laser and an ultra-thin Au foil suspended on a large-area suspended graphene target (超高強度レーザーと大面積自立グラフェンにマウントされた極薄膜金の相互作用による高価数金イオンの加速)</p>				
<p>③ 発表会議名</p> <p>AAPPS-DPP2020</p> <p style="text-align: center;">発表場所(開催都市) : オンライン開催 発表日 : 2020年10月26日</p>				
<p>④ 著者(所属)</p> <p>T. Minami¹, T. Hihara¹, K. Sakai¹, M. Takano¹, T. Nishimoto¹, K. Iwasaki¹, H. Habara¹, Y. T. Liao², H. Kiriya³, Ko. Kondo³, Y. Sakawa⁴, A. Morace⁴, S. Egashira⁴, M. Ota⁴, T. Izumi⁴, T. Morita⁵, M. Takagi⁵, K. Oda⁶, T. Yamauchi⁶, K. Morii⁶, T. Asai⁶, K. Sakamoto⁶, K. Shimizu⁶, M. A. Alkhimova⁸, T. Pikuz⁹, S. Jinno⁷, M. Kanasaki⁶, Y. Fukuda³, W. Y. Woon², and Y. Kuramitsu</p> <p>(¹ Graduate School of Engineering, Osaka University, Japan ² Department of Physics, National Central University, Taiwan ³ Kansai Photon Science Institute, National Institutes for Quantum and Radiological Science and Technology, Japan ⁴ Institute of Laser Engineering, Osaka University, Japan ⁵ Faculty of Engineering Sciences, Kyushu University, Japan ⁶ Graduate School of Maritime Sciences, Kobe University, Japan ⁷ Nuclear Professional School, School of Engineering, The University of Tokyo, Japan ⁸ Joint Institute for High Temperatures of the Russian Academy of Sciences, Russia ⁹ Institute for Open and Transdisciplinary Research Initiatives, Osaka University, Japan)</p>				
<p>④ 備考</p>				